



令和 7 年 8 月 26 日

広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター共催
国際シンポジウム開催について（9/16 開催）

CO₂ 増加に対する海洋生態系の応答を研究する国際拠点 ICONA (International CO₂ & Natural Analogue network) と広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センターが共催するシンポジウム”Synthesizing ICONA activity and Future Directions for Climate Change”（「気候変動に対する ICONA の活動と将来構想」）を下記のとおり開催いたします。

人為起源 CO₂ の増加は、地球温暖化だけでなく海洋酸性化や海洋貧酸素化といった地球規模の環境変動を引き起すため、その影響を予測して対策を講じることが喫緊の課題です。自然に生じた高 CO₂ 水域（火山性 CO₂ ガスの噴出海域等）を相互に利用する国際ネットワーク（ICONA）ではこれまでに、日本・イタリア・ニューカレドニア・パラオ・パプアニューギニアなどで発見された多様な高 CO₂ 海域で国際合同調査を行い、海藻・サンゴ・魚・無脊椎動物・微生物など多岐にわたる生物群の調査を基に生態系の将来予測を行ってきました。これらの成果は、世界的にも高く評価され、国連海洋科学の 10 年（2021-2030 年：UN Ocean Decade）の Decade Action に認められ、2030 年を目標とする SDGs の達成に貢献することが期待されています。

シンポジウムでは、日本、イタリア、フランス、イギリスなど、ICONA に属する各国の研究者らが集結し、これまでの 5 年間の成果を総括するとともに、2030 年までの道筋を議論するための機会を提供します。

日時：2025 年 9 月 16 日（火）13:00-17:30

会場：広島大学フェニックス国際センター ミライクリエ大会議室

内容：「気候変動に対する ICONA の活動と将来構想」

プログラム：

13:00-13:05 Opening Remarks

13:05-13:45 講演 1

Prof. Jason Hall-Spencer：イギリス・プリマス大学

13:45-14:25 講演 2

Dr. Sylvain Agostini：フランス（ニューカレドニア）・
Institut de Recherche pour le Développement

14:25-15:05 講演 3

Dr. Davide Spatafora：イタリア・Stazione Zoologica
Anton Dohrn

15:05-15:10 Break
15:10-15:55 講演4
Prof. Shigeki Wada : 日本・広島大学
15:55-16:40 講演5
Dr. Michael Izumiyama : 日本・琉球大学
16:40-17:25 講演6
Prof. Marco Milazzo : イタリア・パレルモ大学
17:25-17:30 Closing Remarks

使用言語：英語

<取材について>

メディアの方は、すべてのプログラムについて、傍聴、撮影、および講師・参加者へのインタビューが可能です。また、取材当日は広島大学の責任者（瀬戸内CN国際共同研究センター：和田茂樹教授）へのインタビューが可能です。当日、受付にてお尋ねください。

【お問い合わせ先】

広島大学瀬戸内CN国際共同研究センター 教育研究補助職員 上野 恭子 TEL:082-424-4540



2025 ICONA & 瀬戸内CNセンター共催シンポジウム



気候変動に対するICONAの活動と 将来構想

2025年9月16日 午後1時～5時半

場所：広島大学ミライクリエ2階大会議室

海洋酸性化の疑似生態系の紹介と
サンゴ藻類の重要性

サンゴに対する気候変動と海洋酸性化
の影響：自然の実験室からわかること



Jason Hall-Spencer
Professor, Plymouth
University, UK
School of Biological
and Marine Sciences



Sylvain Agostini
Researcher, Institut
de Recherche pour
le Développement,
New Caledonia
UMR Entropie

イタリアのCO₂噴出海域における
調査

日本近海のCO₂シープ：CO₂に対す
る応答の生態系間の差



Davide Spatafora
Researcher,
Stazione Zoologica
Anton Dohrn, Italy
Integrative Marine
Ecology Department



Shigeki Wada
Professor, Hiroshima
University, Japan
Seto Inland Sea CN
Research Center

CO₂シープから見える海洋酸性化に
対する魚類のゲノム応答

気候変動が迫る中で必要となる浅
海域海底噴出域の保全



Michael Izumiyama
Researcher, Ryukyus
University, Japan
Faculty of Science



Marco Milazzo
Professor, University
of Palermo, Italy
Department of Earth
and Marine Science



参加費は無料です。
QRのコードでご登録
ください

